

# 1. 地方公会計制度の概要

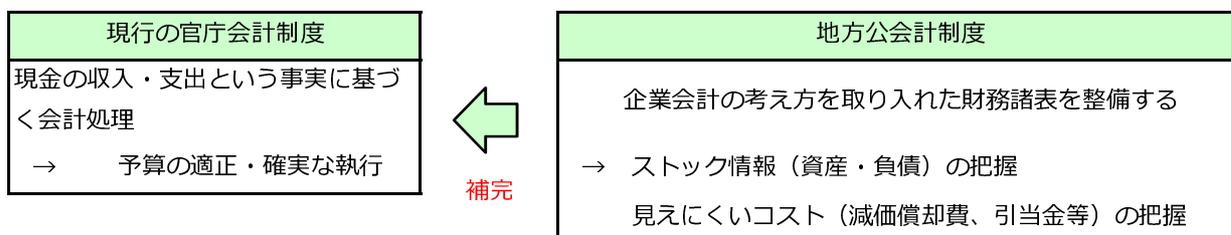
## 地方公会計制度導入の背景

地方公共団体の会計は、「収入」と「支出」で財務管理を行う方式（単式簿記）で処理されていましたが、平成18年に地方公会計改革が公表され、総務省方式改訂モデルに基づいて、貸借対照表、行政コスト計算書、純資産変動計算書、資金収支計算書の財務書類4表が作成されてきました。

しかし、この方式は決算統計を基データとしたものであるため、適切な公会計の書類とは言えないものでした。

平成27年1月、総務省から全ての地方公共団体に対して、「固定資産台帳の整備」と「複式簿記の導入」を前提とした「統一的な基準による財務諸表」を整備するよう要請がされました。

## 地方公会計制度の位置づけ

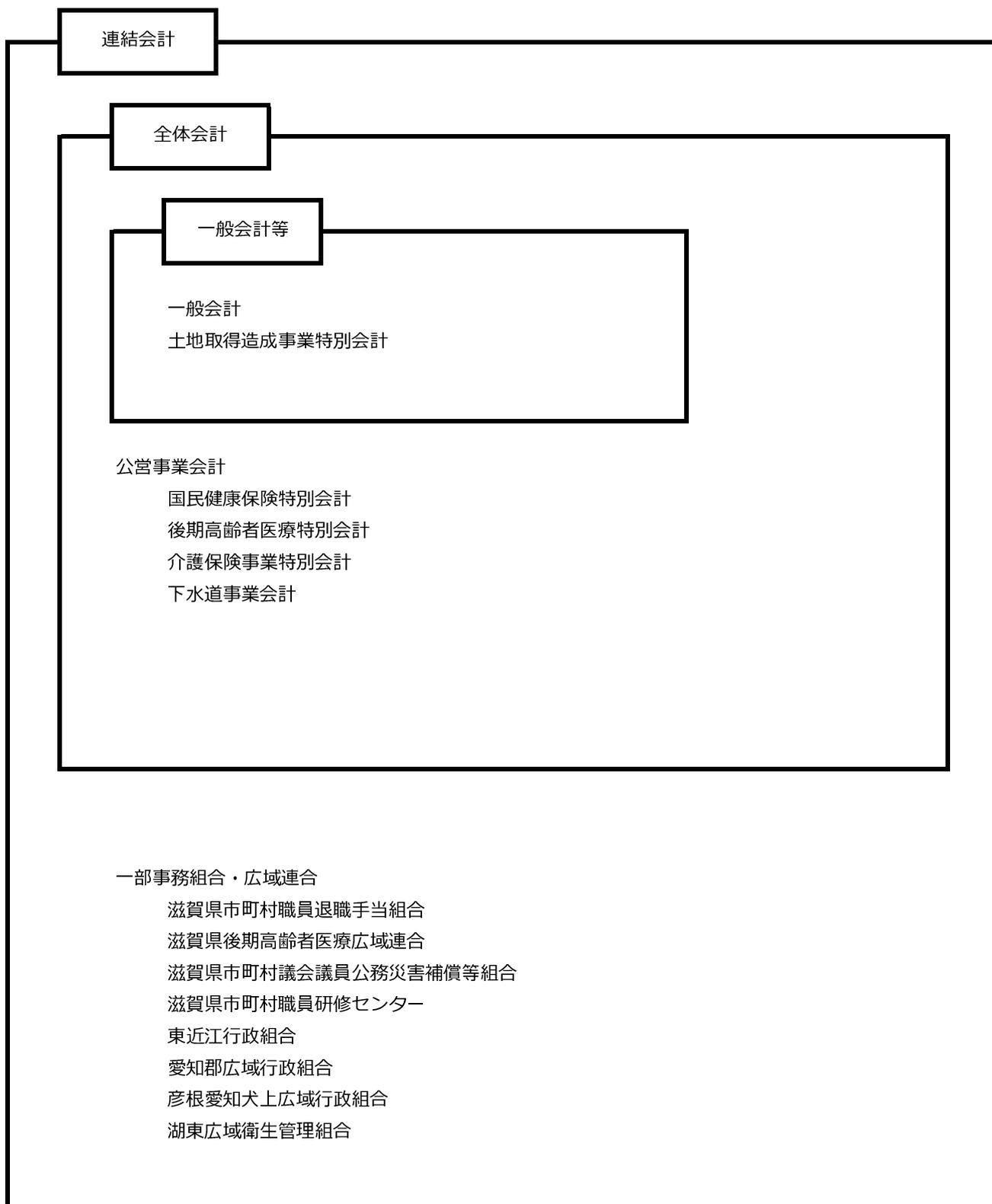


## 統一的な基準の特徴

項目	従来（平成27年度分まで）	現在（平成28年度以降）
複式簿記の導入	決算統計データを活用し、簡易的に財務書類を作成していました。	個々の取引ごと（1伝票ごと）に複式簿記による記帳を行い財務書類を作成しています。
固定資産台帳の整備	固定資産台帳を整備せず、決算統計データの普通建設事業費と区分された経費をもとに資産の取得価額を推定していました。	固定資産台帳を整備し、個々の資産の取得価額、耐用年数等を管理しています。
比較可能性の確保	総務省方式改訂モデル、基準モデル、東京都モデル等の作成基準が混在し、団体間の比較が困難でした。	基準の統一により、今後は団体間の比較が可能となります。

## 2. 財務書類4表の概要

### 財務書類の対象範囲



## 財務4表とは

統一的な基準による地方公会計制度の財務書類は、以下の4種類で構成されます。

<p>貸借対照表</p>	<p>町が行政サービスを提供するために保有している資産と、その資産の形成をどのような財源で賄ってきたかを左右で対照表示したものです。</p> <div style="text-align: center;"> <p>B/S</p> <table border="1" style="margin: auto;"> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;">資産</td> <td style="width: 50%; text-align: center;">負債</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center; color: red;">将来世代の負担</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">純資産</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center; color: red;">現世代までの負担</td> </tr> </table> </div> <p style="margin-left: 100px;">財源の用途</p> <p style="margin-right: 100px;">調達財源</p>	資産	負債		将来世代の負担		純資産		現世代までの負担
資産	負債								
	将来世代の負担								
	純資産								
	現世代までの負担								
<p>行政コスト計算書</p>	<p>一年度の行政活動において、資産形成にならないような行政サービスに要した費用（行政コスト）から、その行政サービスの対価として徴収した収益（使用料・手数料等）を差し引いたものです。</p>								
<p>純資産変動計算書</p>	<p>貸借対照表の「純資産」が、1年間にどのような要因で増減したかを表したものです。なお、純資産は、「固定資産等形成分」および「余剰分（不足分）」に区分され、純資産が、「モノ（固定資産等形成分）」として残されたのか、「金銭（余剰分（不足分））」として残されたのかを表しています。</p>								
<p>資金収支計算書</p>	<p>行政活動に伴う資金の利用状況と資金獲得能力を表したものです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>&lt;業務活動収支&gt; 日常の行政活動に係る資金収支を表しています。</li> <li>&lt;投資活動収支&gt; 公共設備等の整備、貸付金・基金等に係る資金収支を表しています。</li> <li>&lt;財務活動収支&gt; 地方債の発行、償還等に係る資金収支を表しています。</li> </ul>								

なお、これら財務書類4表の相関関係は、次ページのとおりです。

# 財務4表の相関図

## (連結会計)

貸借対照表

<b>A</b>		<b>B</b>	
資産	563億円	負債	323億円
(現在保有している財産)			
			<b>C</b>
		純資産	240億円
うち、			
現金預金			
6億円			
	<b>O</b>		

行政コスト計算書

ー 経常費用	142億円	<b>D</b>
(資産形成にならない経常的なコスト)		
うち、		
人にかかるコスト	18億円	<b>E</b>
物にかかるコスト	43億円	<b>F</b>
移転コスト	78億円	<b>G</b>
その他のコスト	3億円	
+ 経常収益	9億円	<b>H</b>
(行政サービスの対価)		
ー 臨時損失	0億円	
(資産除売却など)		
+ 臨時利益	0億円	<b>I</b>
(資産売却益など)		
= 純行政コスト	△133億円	<b>J</b>
(町税等の財源で賄うべきコスト)		

資金収支計算書

+ 業務活動収支	8.6億円	<b>L</b>
(日常の行政活動にかかる資金収支)		
ー 投資活動収支	3.4億円	<b>M</b>
(資産形成、投資、貸付金等にかかる資金収支)		
+ 財務活動収支	△5.7億円	<b>N</b>
(地方債の発行・償還等にかかる資金収支)		
= 本年度資金収支差額	△0.5億円	
令和元年度 期首資金残高	6.5億円	
令和元年度末 資金残高	6億円	<b>O</b>

純資産変動計算書

令和元年度 期首純資産残高	242億円	
ー 純行政コスト	133億円	<b>J</b>
+ 財源 (町税、国県等支出金)	129億円	<b>K</b>
+ その他	2億円	
(無償所管換えなど)		
令和元年度末 純資産残高	240億円	



## 連結貸借対照表

(令和2年3月31日現在)

自治体名:愛荘町  
会計:連結会計

(単位:千円)

科目名	金額	科目名	金額
【資産の部】		【負債の部】	
固定資産	52,955,888	固定負債	30,484,559
有形固定資産	47,651,771	地方債等	18,948,183
事業用資産	21,036,344	長期未払金	-
土地	9,048,105	退職手当引当金	1,408,500
立木竹	-	損失補償等引当金	-
建物	24,379,464	その他	10,127,876
建物減価償却累計額	-13,239,233	流動負債	1,828,996
工作物	3,114,646	1年内償還予定地方債等	1,546,586
工作物減価償却累計額	-2,303,886	未払金	137,378
船舶	-	未払費用	-
船舶減価償却累計額	-	前受金	-
浮標等	-	前受収益	-
浮標等減価償却累計額	-	賞与等引当金	133,856
航空機	-	預り金	9,673
航空機減価償却累計額	-	その他	1,503
その他	-	負債合計	32,313,555
その他減価償却累計額	-	【純資産の部】	
建設仮勘定	37,247	固定資産等形成分	55,633,353
インフラ資産	25,514,727	余剰分(不足分)	-31,607,073
土地	1,595,187	他団体出資等分	-
建物	-		
建物減価償却累計額	-		
工作物	35,902,878		
工作物減価償却累計額	-12,133,042		
その他	-		
その他減価償却累計額	-		
建設仮勘定	149,705		
物品	4,301,353		
物品減価償却累計額	-3,200,654		
無形固定資産	1,553,060		
ソフトウェア	31,665		
その他	1,521,395		
投資その他の資産	3,751,057		
投資及び出資金	38,146		
有価証券	-		
出資金	38,146		
その他	-		
長期延滞債権	169,091		
長期貸付金	18,566		
基金	3,532,938		
減債基金	14,576		
その他	3,518,362		
その他	830		
徴収不能引当金	-8,515		
流動資産	3,383,947		
現金預金	617,955		
未収金	89,391		
短期貸付金	7,412		
基金	2,670,054		
財政調整基金	2,670,054		
減債基金	-		
棚卸資産	831		
その他	326		
徴収不能引当金	-2,022		
繰延資産	-	純資産合計	24,026,280
資産合計	56,339,835	負債及び純資産合計	56,339,835

B

C

A

## 連結行政コスト計算書

自 平成31年4月1日  
至 令和2年3月31日自治体名:愛荘町  
会計:連結会計

(単位:千円)

科目名	金額	
経常費用	14,248,485	D
業務費用	6,455,940	
人件費	1,816,103	E
職員給与費	1,569,077	
賞与等引当金繰入額	133,070	
退職手当引当金繰入額	7,190	
その他	106,766	
物件費等	4,301,559	F
物件費	2,304,950	
維持補修費	132,517	
減価償却費	1,863,872	
その他	219	
その他の業務費用	338,278	
支払利息	240,463	
徴収不能引当金繰入額	10,426	
その他	87,389	
移転費用	7,792,546	G
補助金等	6,557,930	
社会保障給付	1,187,785	
その他	46,831	
経常収益	927,724	H
使用料及び手数料	459,401	
その他	468,323	
純経常行政コスト	13,320,761	
臨時損失	2,634	
災害復旧事業費	-	
資産除売却損	747	
損失補償等引当金繰入額	-	
その他	1,886	
臨時利益	8,986	I
資産売却益	8,986	
その他	-	
純行政コスト	13,314,409	J

## 連結純資産変動計算書

自 平成31年4月1日

至 令和2年3月31日

自治体名: 愛荘町

会計: 連結会計

(単位: 千円)

科目名	合計	固定資産等形成分	余剰分(不足分)	他団体出資等分
前年度末純資産残高	24,209,377	56,738,377	-32,529,000	-
純行政コスト(△)	-13,314,409	J	-13,314,409	-
財源	12,954,953	K	12,954,953	-
税収等	8,646,384		8,646,384	-
国県等補助金	4,308,568		4,308,568	-
本年度差額	-359,456		-359,456	-
固定資産等の変動(内部変動)		-1,313,372	1,313,372	
有形固定資産等の増加		651,334	-651,334	
有形固定資産等の減少		-1,882,928	1,882,928	
貸付金・基金等の増加		265,599	-265,599	
貸付金・基金等の減少		-347,377	347,377	
資産評価差額	-104	-104		
無償所管換等	7,878	7,878		
他団体出資等分の増加			-	-
他団体出資等分の減少			-	-
比例連結割合変更に伴う差額	180,160	202,951	-22,791	-
その他	-11,575	-2,377	-9,198	-
本年度純資産変動額	-183,098	-1,105,024	921,927	-
本年度末純資産残高	24,026,280	55,633,353	-31,607,073	-

## 連結資金収支計算書

自 平成31年4月1日  
至 令和2年3月31日自治体名:愛荘町  
会計:連結会計

(単位:千円)

科目名	金額
【業務活動収支】	
業務支出	12,402,846
業務費用支出	4,610,300
人件費支出	1,834,621
物件費等支出	2,445,658
支払利息支出	240,463
その他の支出	89,558
移転費用支出	7,792,546
補助金等支出	6,557,930
社会保障給付支出	1,187,785
その他の支出	46,831
業務収入	13,267,731
税収等収入	8,221,609
国県等補助金収入	4,101,526
使用料及び手数料収入	459,865
その他の収入	484,731
臨時支出	1,886
災害復旧事業費支出	-
その他の支出	1,886
臨時収入	-
業務活動収支	862,999
【投資活動収支】	
投資活動支出	789,493
公共施設等整備費支出	643,299
基金積立金支出	145,002
投資及び出資金支出	-
貸付金支出	1,192
その他の支出	-
投資活動収入	453,735
国県等補助金収入	223,542
基金取崩収入	172,951
貸付金元金回収収入	7,647
資産売却収入	11,176
その他の収入	38,418
投資活動収支	-335,758
【財務活動収支】	
財務活動支出	1,502,345
地方債等償還支出	1,500,843
その他の支出	1,503
財務活動収入	934,242
地方債等発行収入	934,242
その他の収入	-
財務活動収支	-568,104
本年度資金収支額	-40,863
前年度末資金残高	636,217
比例連結割合変更に伴う差額	12,928
本年度末資金残高	608,282
前年度末歳計外現金残高	14,017
本年度歳計外現金増減額	-4,344
本年度末歳計外現金残高	9,673
本年度末現金預金残高	617,955